



僕は生きている時、みんなを「しあわせにする種」を

いっぱい蒔いていたんだ。

さあ、あなたはどんな種をまいていきますか。



絵本

しあわせの種



発行 いのちの言葉プロジェクト

著者・人形製作 鷺見三重子

題字 西村千奈美

絵 西城 宏樹

貼り絵 大崎 志保&高校生

幕 大保木寿美代

1,200 (税別)
円

210×210・24頁

ぼくは16歳で死んでしまったんだ。

学校前の横断歩道で、走ってきた車にはねられた。

家族や友達にはぼくが「生きる」ように

一生懸命に祈ってくれたけれど

天国に行ってしまった。

いのちの言葉プロジェクトの思い

大切な家族を事件や事故で亡くした遺族が集まり、「人形劇 しあわせの種」の上演や「いのちの灯り展」を通じて命の大切さをたくさんの人に伝えていきます。

一人ひとりが今生きていられるのは、たくさんの人に支えられているから。

社会のルールを守ること、事件や事故の被害者や加害者にならない社会になってほしい。

命は、自分だけのものじゃなく、命はみんなの宝でもあることを忘れないでほしい。

注文・お問い合わせ

いのちの言葉プロジェクト

〒511-0242 三重県員弁郡東員町六代野新田758-5

TEL&FAX 0594-76-7338 <http://akari.readymade.jp>